

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	船越宿舎(B棟)	階数	地上10F
建設地	神奈川県横須賀市船越町7丁目71番1 他14筆	構造	RC造
用途地域	工業地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	240 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年09月10日
敷地面積	1,837 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社阿波設計事務所東京支店
建築面積	747 m <sup>2</sup>	確認日	2018年09月15日
延床面積	5,209 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社阿波設計事務所東京支店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.5</b> ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★★★★★☆☆</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p><b>標準計算</b></p> <p>①参照値: 184 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>②建築物の取組み: 52%</p> <p>③上記+②以外の: 52%</p> <p>④上記+: 52%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> <b>Q のスコア = 2.8</b></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> <b>Q1のスコア = 3.6</b></p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> <b>Q2のスコア = 2.9</b></p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> <b>Q3のスコア = 1.7</b></p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> <b>LR のスコア = 3.7</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> <b>LR1のスコア = 4.4</b></p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> <b>LR2のスコア = 3.0</b></p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> <b>LR3のスコア = 3.7</b></p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>金沢八景駅からバスで約20分の工業地域に共同住宅(自衛隊施設:宿舎)を計画した。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>特になし。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する。日本住宅性能表示基準「3.劣化の軽減に関すること」で等級3相当</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>特になし。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4を満たす。 [BEI]=0.73、LED照明設備を導入。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>節水コマと節水機能などに加えて、節水型便器も採用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率が、一般的な建物(参照値)に対して52%。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される